

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-224656 (P2003-224656A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 8 日 (2003.8.8)
 【出願番号】特願 2002-274592 (P2002-274592)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 M 3/00

H 0 4 M 3/42

【 F I 】

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 M 3/42 D

H 0 4 M 3/42 E

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 6 日 (2005.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 パケットベース電話方式サービスをサポートする方法において、
通信ネットワーク (1 1 4) を経由して、利用者に係るコンピュータ装置 (1 1 2) か
ら、利用者のための電話方式に係るデータを受信するステップと、
コンピュータ装置が電話通話に係るデータを複数のパケットベース電話方式サービスプ
ロバイダと交換することを可能ならしめるデータを、通信ネットワーク (1 2 2) を経由
してコンピュータ装置に伝達するステップと
を含む、方法。

【請求項 2】 利用者が複数のパケットベース電話サービスプロバイダ (1 1 6 - 1
2 0) の一つに登録されているか否かを判定するステップを、更に含み、
伝達するステップが、利用者が登録されていたらコンピュータ装置 (1 1 2) に上記デ
ータを伝達するステップを含む、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 コンピュータ装置 (1 1 2) が電話ダイヤル利用者インタフェース (
2 0 2) を含み、
伝達するステップが、電話ダイヤル利用者インタフェース (2 0 2) を使用可能にする
データを、コンピュータ装置 (1 1 2) に伝達するステップを含む、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】 伝達するステップが、複数のパケットベース電話方式サービスプロバ
イダ (1 1 6 - 1 2 0) のうちの上記の一つに係るサーバに対する接触データを、コンピ
ュータ装置に伝達するステップを含む、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】 複数の利用者の各々に係る情報をデータベース (1 1 0) に記録する
ステップを、更に含み、
各々の利用者のために記録された情報は、かような利用者が複数のパケットベース電話
方式サービスプロバイダ (1 1 6 - 1 2 0) のどれか一つに登録されているかを示す、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】 利用者のための複数のパケットベース電話方式サービスプロバイダ (

116 - 120)に係るリストを利用者に提示するステップを、更に含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項7】 操作を実施するためのコンピュータ実行可能命令を有するコンピュータ読取可能メディアにおいて、

第1のサーバにパケットベース電話通話のための信号データを送信する命令と、

第2のサーバに上記パケットベース電話通話のための通話内容データを送信する命令とを有する、コンピュータ読取可能メディア。

【請求項8】 第1のパーティに係る第1のサーバへ、利用者が所望するパケットベース電話方式サービスに係る情報を、送信する命令と、

第1のパーティに係る第1のサーバから、利用者のためのパケットベース電話方式サービスを使用可能にする情報を、受信する命令と、

使用可能にされたパケットベース電話方式サービスを経由して、第2のパーティに係る第2のサーバへパケットベース電話通話データを送信する命令とを、更に有する、請求項7に記載のコンピュータ読取可能メディア。

【請求項9】 情報を送信する命令が、利用者がパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116 - 120)に登録されているか否かを要求する情報を送信する命令を含み、

上記第2のパーティが、パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116 - 120)である、

請求項8に記載のコンピュータ読取可能メディア。

【請求項10】 情報を受信する命令が、利用者が電話通話を設定できる電話ダイヤル利用者インタフェース(202)を使用可能にする情報を受信する命令を含む、

請求項8に記載のコンピュータ読取可能メディア。

【請求項11】 情報を受信する命令が、第2のパーティに係るサーバに対する接触データを受信する命令を含み、

電話通話データを送信する命令が、受信された接触データを利用して第2のパーティに係るサーバに電話通話データを送信する命令を含み、

情報を送信する命令が、利用者の入力に応じて第1のパーティに係るサーバに情報を送信する命令を含む、

請求項8に記載のコンピュータ読取可能メディア。

【請求項12】 第1のサーバが、上記信号データを第2のパーティに係るサーバに発送するためのプロキシサーバ(108)であり、

信号データを送信する命令が、IPベースの通話信号プロトコルを利用して、第1のサーバに上記パケットベース電話通話のための信号データを送信する命令を含み、

通話内容データを送信する命令が、リアルタイムIPベースメディアストリーミングプロトコルを利用して、第2のサーバに上記パケットベース電話通話のための通話内容データを送信する命令を含む、

請求項7に記載のコンピュータ読取可能メディア。

【請求項13】 第1のサーバに、第2のパーティに係る上記サーバのための接触データを送信する命令を、更に有し、

接触データを第1のサーバに送信する操作の前の、第3のサーバから上記の接触データを受信する命令を、更に有する、

請求項7に記載のコンピュータ読取可能メディア。

【請求項14】 パケットベース電話方式を処理しサポートするシステム(100)において、

ユーザデータベース(110)と、

利用者がパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116 - 120)に登録されていることを示すデータを、そのパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116 - 120)から受信し、その利用者がパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116 - 120)に登録されていることを示すデータをユーザデータベース(110)の中に記録

する、アカウントサーバ(106)と、

ユーザデータベースに(110)アクセスすることにより、利用者がパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)に登録されていることを判断し、パケットベース電話通話に係るデータをパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)と交換することをコンピュータ装置(112)に対し可能ならしめるデータを、利用者に係るコンピュータ装置(112)に送信する、構成サーバ(104)と、

コンピュータ装置(112)からパケットベース電話通話のための信号データを受信し、受信された信号データをパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)に送信する、プロキシサーバ(108)とを含む、システム(100)。

【請求項15】 上記パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)を含む、複数のパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)のリストを、コンピュータ装置(112)に送信し、上記パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)の利用者によりなされた選択をコンピュータ装置(112)から受信し、利用者によりなされた選択を示すデータをユーザデータベース(110)に記録する、照会サーバ(102)を、更に含む、請求項14に記載のシステム(100)。

【請求項16】 照会サーバ(102)は、上記パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)への利用者の登録はベンディングであることを示すデータをユーザデータベース(110)の中に記録するように構成され、

アカウントサーバは、利用者が上記パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)に登録されていることを示す上記データを上記パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)から受信するのに応じて、ユーザデータベース(110)の中に格納されるデータを上記パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)への利用者の登録が発生したことを示すように変更すべく構成される、請求項15に記載のシステム(100)。

【請求項17】 プロキシサーバ(108)は、ユーザデータベース(110)の中に格納されるパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)のための接触情報を利用して、受信された信号データをパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)に送信するように構成される、請求項14に記載のシステム(100)。

【請求項18】 プロキシサーバ(108)は、利用者に対するパケットベース電話通話のための信号データを、パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)から受信し、パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)から受信した信号データをコンピュータ装置(112)に送信するように構成される、請求項14に記載のシステム(100)。

【請求項19】 プロキシサーバ(108)は、ユーザデータベース(110)にアクセスし、パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)から受信した信号データをコンピュータ装置(112)に送信する前に、利用者がパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)に登録されていることを確認するように構成される、請求項14に記載のシステム(100)。

【請求項20】 プロキシサーバ(108)は、
[1] パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)から受信した信号データをコンピュータ装置(112)に送信する前に、利用者がコンピュータ装置の前に居るか否かを判定する、若しくは、

[2] コンピュータ装置(112)のための接触情報をパケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)に送信し、よって、パケットベース電話方式サービスプロバイダ(116-120)をして、利用者に対するパケットベース電話通話のための通話内容データを直接コンピュータ装置(112)に送信することを可能ならしめる、

という上記〔１〕及び〔２〕の操作のうち、ひとつ又はどちらも実施するように構成されていることを特徴とする請求項１４に記載のシステム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

一つの公知の実施形態では、オンラインサービスプロバイダの利用者が開始したパケットベース電話方式通話の全ては、サービスプロバイダが選ぶ外部ＰＢＴＳＰに直接に、クライアントソフトウェアにより、自動経路設定される。本質的に、オンラインサービスプロバイダは、外部ベンダに対する照会サービスを提示し、パケットベース電話方式サービスを望む利用者全部を外部ベンダに任せることになる。この実施形態は、幾つかの不利点をこうむる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

件の特定の実施形態では、利用者が、システム１００の中にログを発生するのに成功すると、コンピュータ装置１１２は、利用者がＰＢＴＳＰ１１６－１２０の一つに登録されているか否かを判定することを、構成サーバ１０４に問い合わせる。応答して、構成サーバ１０４は、ユーザデータベース１１０からの利用者に対するレコードにアクセスする。利用者のレコードが、利用者がＰＢＴＳＰ１１６－１２０のうちの一つに登録されていることを示すならば、構成サーバ１０４はデータをコンピュータ装置１１２に伝送し、これにより、コンピュータ装置が以下に説明するやり方で利用者のＰＢＴＳＰと電話通話データを交換できる。件の特定の実施形態では、コンピュータ装置１１２に与えられるデータは、コンピュータ装置１１２の電話ダイヤル利用者インタフェースを使用可能にする。そのインタフェースは、利用者が、電話通話を設定するために使用することができる。構成サーバ１０４は、例えば、利用者のＰＢＴＳＰを識別するグラフィカルイメージへのリンク、利用者のアカウント情報へのリンク、通話ステータス上方へのリンクなどを含む、利用者のＰＢＴＳＰに特有のウェブブラウザスタイルのリンク（例えばＵＲＬ）を、コンピュータ装置１１２に提示する。利用者がＰＢＴＳＰの一つに登録されないのならば、構成コンピュータ１０４は、登録された利用者が無いという状況を示すデータを、コンピュータ装置１１２に提示する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

購入契約ボタン２０４を選択すると、コンピュータ装置１１２は、ウェブブラウザアプリケーションを開き、電話サービスへの登録をするという利用者の望みを示すデータを照会サーバ１０２に送信することを、促される。それに応答して、照会サーバ１０２は、図３に図示されるようなウェブページ３０をコンピュータ装置１１２に供給する。ウェブページ３０２は、ユーザが利用可能なＰＢＴＳＰのリストを提示する。ウェブページ３０２で列挙される特定のＰＢＴＳＰは、利用者の地理上の領域及び利用言語のような、利用者の所与の情報に従って、システム１００により選択され得る。ウェブページ３０２は、利用者に他の国のプロバイダのリストを受信させることもできる。いずれにせよ、利用者が

使用可能なプロバイダは、無作為の順序付けに従って、（例えば、特定のサービスプロバイダに対して“トップビリング”を保証する契約上の同意を基にするような）重み付けの順序付けに従って、これら２つの方策の混合形態に従って、若しくは他の方策に従って、リストされ得る。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２５】

ファイルド４１０に電話番号を入力後にダイヤルボタン４０８を利用者が選択したのに応じて、コンピュータ装置１１２は、図１に矢印１２６により示される、プロキシサーバ１０８への電話通話のための信号データを送信する。通話信号データを受信し、プロキシサーバ１０８は、図１に矢印１２８により示されるように、ユーザデータベース１１０にアクセスし利用者のＰＢＴＳＰのための接触情報（例えば、本例では、ＰＢＴＳＰ１２０に係るサーバ１２５のＩＰアドレスなど）を引き出す。それから、プロキシサーバ１０８は、引き出した接触情報を利用して、図１に矢印１３２で示されるように、ＰＢＴＳＰ１２０へ信号データを発信する。一方で、信号データを発信するためにプロキシサーバ１０８により利用される利用される接触情報は、構成サーバ１０４によりユーザデータベース１１０から最初に引き出され、（電話ダイヤル利用者インタフェースを使用可能にするデータと共に、若しくは該データとして）構成サーバ１０４によりコンピュータ装置１１２に与えられ、それから、コンピュータ装置１１２により信号データと共にプロキシサーバ１０８に与えられる。（図１の矢印１２８を必要としない）このもう一方の方策は、ユーザデータベース１１０からの接触情報にアクセスする必要があるままで、プロキシサーバ１０が、利用者のＰＢＴＳＰに信号データを即座に送信できる。そのユーザデータベース１１０からの接触情報にアクセスすることは、潜在的に待ち時間問題を生じ得るのである。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３２】

システム１００及びコンピュータ装置１１２は、コンピュータ装置１１２を経由して利用者により設定される領域外通話の文脈で、上記に説明されているが、利用者は同様に、コンピュータ装置１１２を経由して到来電話通話を受信できる。例えば、ＰＢＴＳＰ１２０に登録する部分では、ＰＢＴＳＰ１２０は、電話通話を受信するための利用者に対する電話番号を与えることができ、利用者のプロキシサーバ１０８のための接触情報（例えば、ドメインネームサーバ（DNS）名）を記録できる。従って、ＰＢＴＳＰ１２０が、利用者の電話番号に対して為された電話通話を受信すると、ＰＢＴＳＰ１２０は、到来通話のための信号データをプロキシサーバ１０８に経路設定することにより、コンピュータ装置１１２に係る通話を完了させようとする。それに応じて、プロキシサーバ１０８は、（ある実施形態では、与えられた電話番号を、コンピュータ装置１１２のような利用者に係る装置に位置付ける目的に加えて、）利用者がＰＢＴＳＰ１２０に登録されていることを確認すべく、ユーザデータベース１１０にアクセスする。そうであるならば、プロキシサーバ１０８は、受信した信号データをコンピュータ装置１１２に伝達することを試みてもよい。信号データがコンピュータ装置１１２に受信されたら、コンピュータ装置は到来通話利用者インタフェース（図示せず）を利用者に提供する。利用者がコンピュータ装置の前におり到来通話利用者インタフェースを介して通話を受けることを選択すると、コンピュータ装置１１２はプロキシサーバ１０８に適切な受取通知（例えば、SIP受取通知）

を送信する。プロキシサーバ 108 はコンピュータ装置 112 のための接触情報（例えば、IP アドレス）と共に P B T S P 120 に受取通知を伝送する。続いて P B T S P 120 は、プロキシサーバ 108 から受信したコンピュータ装置 112 のための接触情報を直接利用して、コンピュータ装置 112 に通話内容データ（即ち、メディアトラフィック）を送信することによって、通話を完了する。